

## 令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

(1) 都立大泉桜高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）

(2) 事務局の構成 教諭(総務部主任兼務)＝事務局長 計1名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室室長、主幹教諭（教務・進路指導）、主任教諭（生活指導）、教諭（総務） 計7名

(4) 協議委員の構成

学識経験者(元都立大泉桜高等学校開設委員)、PTA会長、都立特別支援学校長、近隣中学校長、近隣小学校長、近隣町会長、近隣町副会長、保護司会分会長、警察署係長、産業医 計10名

### 2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和7年6月

協議委員委嘱、委員の紹介、学校運営連絡協議会趣旨説明、学校経営計画、学校経営報告、本校の現状と課題等説明、各分掌・年次からの現状と課題等説明、意見交換。

第2回 令和7年10月

本校の現状と課題等説明、各分掌・年次からの中間報告、評価委員会から学校評価アンケート（案）の報告、意見交換。

第3回 令和8年3月

学校評価アンケート結果の報告及び課題等に関する協議、本校の教育活動について報告、次年度に向けた方向性の確認

(2) 評価委員会の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和7年10月

学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討。  
学校評価アンケートの項目などを提案。実施に向けた検討。

第2回 令和8年3月

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

学校経営の定点観測として「学校への理解」、「学校での学びの意欲」、「学校での行動実践」等の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模・回収率

全校生徒、保護者、教職員はオンライン、地域住民は紙で回答とした。

|                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| ・1月 全校生徒（長期欠席者を除く）    | 387／556人（69. 6%） |
| ・1月 保護者：全年次           | 275／556人（49. 5%） |
| ・1月 地域住民：大泉三丁目、四丁目住民等 | 19／ 30人（63. 3%）  |
| ・1月 教職員               | 29／ 42人（59. 2%）  |

(3) 主な評価項目

教育活動全般、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備、ライフ・ワーク・バランスの推進

(4) 評価結果の概要

- ・生徒・保護者とも、単位制の特徴を活かした本校の教育活動についての満足度（そう思う・ややそう思う）が85%以上あり、大泉桜高校に入学してよかったと思っている。
- ・生徒・保護者とも、学習指導（興味や関心、意欲のわく授業）についての満足度が生徒85%程度、保護者73%程度あり、おおむね満足していると感じているが、生徒と保護者の感覚に差があることも分かった。
- ・生徒・保護者ともに、本校の施設や設備に不満を持っている割合が高く、自由意見では校舎の老朽化やトイレの改修を望む声が強かった。
- ・ルールやマナー等の生活指導について、75%前後でおおむねきちんと指導されていると評価されているものの一定数の生徒・保護者については指導がされていないことに不満を持っている。特に、教員の指導に一貫性がないことに不満を持っている生徒がいることが分かった。
- ・本校の進路指導は適切に行なわれている（生徒93%、保護者82.8%）と評価されているが生徒と保護者の感じ方に差がある。
- ・地域との連携（生徒79.9%、保護者56%）については、授業や部活動で連携しているが、情報が行きわたらず生徒・保護者全体にまで広がっていないことが分かった。
- ・保護者へのアンケート回答で、今年度はオンラインとしたため学校に興味・関心が高い保護者が回答されたと思うが、その中でも設問により「わからない」の割合が多い項目が複数あり、関心の高さにばらつきがあることが分かった。
- ・地域住民へのアンケート結果では、今年度は本校に関心を持たれている方からの回答が多く、肯定的にとらえてもらった。

一方で項目によっては「わからない」と回答する人もいた。次年度は配布方法も含め検討することが課題となった。

#### (5) 評価結果の分析

##### <生徒のアンケート結果>

19の質問項目について、生徒は16項目で「そう思う、ややそう思う」が7割を超えている。生徒で7割を割った項目は以下の通り。

- ・生徒は、本校の生活指導方針を理解し、守っている。(あまりそう思わない:23.5%、そう思わない:9.3%) 項目10
- ・生徒は、校内の美化活動にしっかりと取り組んでいる。(あまりそう思わない:26.1%、そう思わない:7.5%) 項目11
- ・本校の施設・設備は、充実している。(あまりそう思わない:22.7%、そう思わない:16.5%) 項目17

##### <保護者のアンケート結果>

20の質問項目について、保護者は12項目で「そう思う、ややそう思う」が7割を超えている。保護者で7割を割った項目は以下の通り。(「わからない」回答も一定数あり)

- ・部活動は活発に行われている。(あまりそう思わない:18.9%、そう思わない:4.7%、わからない:11.6%) 項目5
- ・本校は、体罰や暴言、イジメ、SNSのトラブルをなくすため、積極的に取り組んでいる。(あまりそう思わない:11.6%、そう思わない:2.9%、わからない:27.3%) 項目6
- ・本校は、防災教育を積極的におこなっていると思う。(あまりそう思わない:7.3%、そう思わない:2.2%、わからない:29.5%) 項目8
- ・自分の子どもは、校内の美化活動にしっかりと取り組んでいると思う。(あまりそう思わない:11.6%、そう思わない:3.6%、わからない:17.5%) 項目10
- ・クラスでの活動が活発に行われていると思う。(あまりそう思わない:17.5%、そう思わない:3.6%、わからない:23.3%) 項目15
- ・本校の施設・設備は充実していると思う。(あまりそう思わない:26.9%、そう思わない:10.9%、わからない:10.9%) 項目16
- ・本校は地域と積極的に交流していると思う。(あまりそう思わない:12.0%、そう思わない:1.5%、わからない:30.2%) 項目17
- ・本校は、国や都が取り組んでいる働き方改革の実現を図っていると思う。(あまりそう思わない:9.0%、そう思わない:1.9%、わからない:42.2%) 項目20

##### <学校経営の観点>

- ・本校における履修指導・進路指導等は、自分の将来にとって有益である。(生徒 そう思う:51.7%、ややそう思う:41.3% 保護者 そう思う:40.7%、ややそう思う:41.1%) 項目13
- ・大泉桜高校に入学して良かったと思っている。(生徒 そう思う:51.2%、ややそう思う:35.1% 保護者 そう思う:53.8%、ややそう思う:34.2%) 項目19

##### <教職員のアンケート結果>

20の質問項目について、教職員は16項目で「そう思う、ややそう思う」が7割を超えている。教職員で7割を割った項目は以下の通り。

- ・本校は、部活動の活性化に取り組んでいる。(そう思う:36.8%、ややそう思う:26.3%) 項目5
- ・生徒は、本校の生活指導方針を理解し、守っている。(そう思う:26.3%、ややそう思う:36.8%) 項目9
- ・本校は、生徒に対して教育目標を周知している。(そう思う:26.3%、ややそう思う:42.1%) 項目10
- ・計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を図っていると思う。(そう思う:21.1%、ややそう思う:26.3%) 項目20

##### <地域住民のアンケート結果>

9つの質問項目のうち、2項目で「わからない」が3割を超えている。

- ・大泉桜高校は地域と連携した防災教育をしていると思う。63.2% 項目5
- ・大泉桜高校は国や都が取り組んでいる働き方改革の実現を図っていると思う。57.9% 項目9

##### <アンケート結果総括>

今年度は、学校行事・部活動が徐々にではあるが盛んになってきた。しかし、温暖化の影響で、5月から熱中症対策が必要になった。そのような学校生活のなかでアンケート結果は、生徒・保護者の満足度では昨年度とほぼ同様の項目で意見が同じであったが、施設・設備への不満や個々の教員の生徒対応(生活指導)に幅があることについて不満がある結果となった。しかし、多くの生徒・保護者は、単位制の特徴を活かした本校の教育活動への満足度が高く、大泉桜高校に入学してよかったと思っている。一方、保護者や地域からは、本校の教育活動が見えにくいととらえているところもあり、地域との連携、情報発信にさらなる工夫が必要であることも判明した。

#### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題

##### (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・学校に対する満足度は高く、本校の教育活動が理解されていることが見える。

- ・生徒の学校生活と進路指導の一環として行われるキャリアガイダンスや情報の提供等、進路指導に対する取り組みは高く評価されている。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・今年度から回答をオンラインにしたが、全体的に回収率が低く、回収率を高める方法を考えなければならない。
- ・高い評価を得ている項目については、今後も維持するための一層の工夫が必要である。
- ・「わからない」項目の数値を減らす取組みを継続して行う必要がある。
- ・施設への不満が高まっていることに対して、喫緊の課題となっていることへ危機感を感じる。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学習指導

- ・生徒の学習意欲を高める授業や補習等により進路選択を確かなものにする指導の工夫。
- ・各教科の基礎基本を身に付けさせる指導の工夫・充実。
- ・週末課題や課題テスト等による「自学習の習慣化」の促進。

(2) 生活指導

- ・学校生活における基本的マナーの徹底と統一した指導体制の構築。
- ・生徒による学校行事のさらなる活性化と校則の見直しへの取り組み方法の構築。
- ・服装・頭髮に関する校則等、校内規則の見直しと規律遵守の指導の徹底。

(3) 進路指導

- ・多様化した選抜方法による進路実績の向上。
- ・適切な情報収集と安易な進路決定防止のための「キャリア教育」の充実。

(4) 広報活動

- ・SNS等を活用した積極的な広報活動の工夫・充実。
- ・長期休業中等を活用した学校全体で取り組む塾訪問や説明会の工夫。
- ・外部で行われる説明会への積極的な参加。

(5) その他

- ・地域と連携して、本校を理解してもらう。

6 評価委員会報告

- ・アンケートの回答率がオンラインでの回答により低迷した。次年度は、保護者の回答率を如何にして上げるかが課題となっている。
- ・アンケートの分析結果等は分かりやすい。グラフを視覚的に工夫する（円グラフの活用等）ともっと見やすくなる。
- ・自転車の乗り方を含む登下校のマナー、SNSの使い方指導等について活発な意見が出された。
- ・今後もよろしくお願いいたします。

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

職員会議及び企画調整会議に協議委員は、出席していない。

8 その他

特になし。